

中小総研

手軽にマニュアルを作る (IRSME14022)

平成 27 年 1 月 15 日 原田長州

自分“だけ”が知っている情報を減らし、情報の共有のために簡易マニュアルを作る。マニュアルに必要なものは、「手順」と「なぜそうするのか」という点である。いざマニュアルを作ろうと思うと「あれも、これも盛り込まなくてはいけない」と考えて気後れしてしまう。手軽に作れる簡易マニュアルを作ることからはじめたい。

■ 写真・スクリーンショット

写真や画面撮影をして文言を追加するようにすれば時間の短縮になる。

以下の点に注意したい。

- ・ かならず図表番号を割り当てること（例：図 1、表 1 など）
- ・ 1 枚の画像の中で複数の注目して欲しいところがある場合は、図表内で番号を割り当てること（文章中からは図 1①などとして指し示す箇所がわかりやすくする）
- ・ 図表には必ず内容を示すキャプションを入れる（例：「設定画面を表示させたところ」、「実行結果の例」など）

使用している機器にもよるが、多くのパソコンではプリントスクリーン（画面をそのままコピーする）機能がある。キーボード上に“Prnt Scrn”などの表示があればそれだ。この機能によって画像をマニュアル上に配置することで、マニュアルのわかりやすさが格段に向上する。

<スクリーンショットの例>



※左図は“Prnt Scrn”機能でコピーした画像を貼り付けたものを、右クリックして選択できる“トリミング”機能を利用して余分な部分を削除したものの。この上に引き出し線やテキストボックスなどで注釈を加えればわかりやすくなる。

ここに注意！

平成 27 年 1 月 15 日

(IRSME14022) 手軽にマニュアルを作る

■ 動画

動作や道具の使い方など言葉で解説しにくいものは、ビデオカメラ、デジタルカメラ、スマートフォンなどで撮影する。動画は、手ぶれをおさえることが見やすい動画につながる。面倒でも三脚を用意することが望ましい。

動画において重要なのは、動きを伝えることだけではなく音声である。騒音が多い場所で少し離れて撮影すると説明の部分が聞こえないので音声は別で録音する。動画では、音声を気をつかうことが重要である。

■ パソコン画面を録画する

パソコンの操作に関するマニュアルでは、パソコンの画面を録画することでも可能である。実際に、教育用途でも利用されている。操作しているパソコン本体に画面を録画するソフトをインストールするか、パソコンと外部ディスプレイの間に接続してディスプレイに表示される内容を録画するという方法がある。

■ まとめ

手軽に使えるツールが増え、スマートフォンで撮影してそのまま編集することもむずかしくない。マニュアルの作成はすぐには生産性が感じられないため後回しになることが多いが、業務が人に依存しがちな中小企業においては、不十分な引継や業務のブラックボックス化などにより危機に直面して初めて大きなロスを経験することが多い。マニュアルがないことによるロスは見えにくいものだ。すぐはじめられるものから試してみたいだろうか（了）